

予 算 要 求 資 料

令和3年度6月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 **新** 売上減少事業者等支援金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商工政策課 経済・雇用再生室 電話番号：058-272-1111 (内 4701)

E-mail : c11351@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,020,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳					
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	その他	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,020,000	0	0	0	0	0	1,020,000
決定額	1,020,000	1,020,000	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置又は岐阜県の非常事態宣言に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響により、売上が減少した事業者に対して支援金を支給する。

(2) 事業内容

【対象事業者】

- ・要請により休業・時短営業を実施している飲食店と直接・間接かつ反復継続した取引がある事業者。
- ・不要不急の外出・移動の自粛による直接的な影響を受けた事業者。
- ・岐阜県内に事業所を有する中小法人・個人事業者等。

【支給要件】

- ・ 2021年4月、5月、6月、それぞれの売上が、前年又は前々年に比して30%以上減少し、国の月次支援金の対象とはならないこと。

【支給額】

- ・ 2021年4月、5月、6月それぞれの月において、1事業者あたり、以下の額を上限に売上減少額を支給。

中小法人：10万円 / 個人事業者等：5万円

例) 4月、5月、6月とも要件を満たす中小法人 → 10万×3月分=30万
5月、6月が要件を満たす中小法人 → 10万×2月分=20万

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10 (地方創生臨時交付金 (事業者支援分))

(4) 類似事業の有無

有 (月次支援金：経済産業省)

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	1,000	
役員費	775	
委託料	18,225	
交付金	1,000,000	支給要件を満たす事業者に対して交付
合計	1,020,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ 国は地方創生臨時交付金の中に、新型コロナウイルス感染症により経済活動に影響を受ける事業者への支援等を対象とする「事業者支援枠」を設定し、都道府県向け支援を実施。
- ・ 愛知県及び三重県において、同趣旨の事業者支援を展開。

(2) 後年度の財政負担

- ・なし

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・県からの要請に基づく休業・時短営業等により影響を受けた事業者に対する支援制度であり、県主体が妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県からの要請に基づく休業・時短営業等の影響により売上が減少した事業者を支援する。
 （国の月次支援金の横出し支援）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

支援金の申請は事業者の任意であるため、指標設定になじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県からの要請に基づく休業・時短営業等の影響により売上が減少した事業者（月次支援金の対象外）に限定して実施する事業であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度事業
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	